

サプライヤーの行動規範

バージョン履歴

バージョン 番号	日付	認可者	備考
1	2014年一月	グループヘッド-調達	
2	2016年一月	グループヘッド-調達	
3	2019年7月	グループヘッド-調達	
4	2021年12月	グループヘッド-調達	
5	2023年3月	グループヘッド-調達	
6	2024年3月	グループヘッド-調達	
7	2025年4月	グループヘッド-調達	インサイダー取引方針の更新。

グループヘッドからのメッセージ - 調達



パートナーの皆様、

サプライヤーの行動規範は、すべてのサプライヤー（従業員および関連者を含む）に対して、ビジネス関係において維持すべき主要な原則と期待を概説するガイドラインとして機能します。当社、Infosysは、ビジネスの誠実性、倫理、ガバナンスを強く支持しており、非倫理的なビジネス慣行に対しては絶対に容認しません。私たちは、サプライヤーが最大限の誠実さ、正直さ、透明性を持ってビジネスを行い、適用されるすべての法律および規制を遵守することを期待しています。

Infosysは、環境の持続可能性に取り組んでおり、ESGの原則を深く重視しています。私たちは、サプライヤーが持続可能な慣行を実施し、廃棄物を削減し、リサイクルを行い、天然資源を保護することによって、環境への影響を最小限に抑えることを期待しています。また、サプライヤーが社会全体の福祉に貢献し、文化の多様性を促進することを奨励しています。

次のページでは、サプライヤー行動規範について詳しく説明し、持続可能なサプライチェーンエコシステムのための基本原則を実践するにあたり、皆様のコミットメントとご支援をお願い申し上げます。

よろしくお願い致します。

ディラージ・セティ

グループヘッド-調達

目次

サプライヤーの行動規範.....	1
1. 前書き	4
A. 倫理と法令のコンプライアンス.....	4
1. ビジネスの誠実さと倫理.....	4
2. 関心事項の相反	5
3. 品質および製品責任.....	5
4. 公正なビジネス、広告および競争	5
5. 国際貿易	5
6. 機密保持	5
7. 知的財産権	5
8. データプライバシー	6
9. 紛争鉱物	6
10. 情報セキュリティ	6
11. ビジネスの継続性.....	7
12. インサイダー取引.....	7
13. Infosysのブランド名とロゴ、メディア権利.....	7
14. サプライヤーにより第三者のエンゲージメント.....	7
15. 法律の遵守	7
B. 労働慣行と人権	7
1. 賃金と福利厚生	8
2. 労働時間	8
3. 児童労働	8
4. 強制労働/人身売買	8
5. 人権	8
6. 差別禁止	8
7. 結社の自由と団体交渉の権利.....	9
8. ハラスメント	9
C. 健康と安全	9
D. 環境とコミュニティ	9
1. サプライヤーの義務.....	10
E. 懸念事項の報告	10

1. 前書き

Infosysでは、私たちの価値であるC-LIFE（顧客価値、模範によるリーダーシップ、誠実性、公正性、実行の卓越性）が、責任ある企業としての取り組みの基盤を形成しています。

私たちは、サプライヤーが私たちのエコシステムにおいて不可欠な存在であると確信しており、サプライヤーが尊重されていると感じられる環境の創出に努めています。本サプライヤー行動規範（以下「サプライヤー規範」といいます）は、Infosysがサプライヤーに対して期待する事項を詳細に記述しており、Infosys社およびその子会社（以下「Infosys」といいます）に適用されます。

「サプライヤー」とは、Infosysまたはその子会社に商品またはサービスを販売、または販売しようとする団体または個人を指し、サプライヤーの従業員、代理人およびその他の代表者を含みます。Infosysは、サプライヤーを3つの主要なカテゴリーに分類しています。

- 人材のサプライヤー：Infosysに人材を提供するサプライヤー（業務および支援）です。Infosysに割り当てられた人材は、Infosysおよびその顧客の拠点で、労働力の不可欠な一部として働いています。
- サービスのサプライヤー：Infosysの拠点で必須サービス（ケータリング、飲食カウンター、輸送、建設など）を提供するサプライヤーです。
- 製品のサプライヤー：Infosysに製品（ハードウェア、ソフトウェア、電気/電子機器、家具、重機、文房具など）を供給するサプライヤーです。

Infosysは、は、すべての商取引を誠実かつ透明性をもって行うことを固く信じており、すべての取引において倫理的、誠実かつオープンであることを徹底しています。私たちは、サプライヤーがすべての取引において誠実さと倫理を守ることを期待しています。

サプライヤー規範は、6つのセクションと「すべきこと」と「してはいけないこと」のリストで構成されています。セクションA、B、C、Dは、それぞれ倫理とコンプライアンス、労働慣行と人権、健康と安全、環境に関する基準を概説しています。Eセクションでは、サプライヤーが導入すべき管理システムとサプライヤーの義務について説明しています。セクションFは、サプライヤーコードの違反が発生した場合に懸念事項を報告する手段を提供しています。

A. 倫理と法令のコンプライアンス

Infosysは、誠実さ、正直さ、公正な取引において苦勞して築き上げた評判を享受しています。疑いなく、この誠実さに対する評判は私たちの成功にとって非常に貴重な要素です。私たちは、サプライヤーが誠実かつ倫理的な方法で私たちと協力することを期待しています。

1. ビジネスの誠実さと倫理

グローバル企業として、Infosysは、1988年腐敗防止法（インド）、外国腐敗行為防止法（米国）、および2010年贈収賄法（英国）を含むが、これに限定されないすべての関連する贈収賄および腐敗防止法の適用を受けます。サプライヤーは、贈収賄防止および腐敗防止に関する法律を、書面および精神の両方において遵守していることを確認する必要があります。Infosysは、いかなる形の贈収賄および/または腐敗に対してもゼロトレランスの方針を持っています。贈収賄と汚職は、私たちのC-LIFEの価値観に反するものです。Infosysは、そのような行為を許可しておらず、また、代理店、コンサルタント、サプライヤーおよび請負業者など、当社に代わって行動する第三者がそのような支払いを行うことも許可していません。 サプライヤーは次の事項を保証する必要があります。

- 贈収賄防止および汚職防止法の遵守を保証するための監視および執行手続きを実施します；
- 合意されたサービスおよび供給に基づき、補助書類と共に請求書およびクレームを提出しま

す；すべての取引を透明に行い、帳簿および記録に正確な内容を維持します；

- Infosysに代わって、公務員、顧客、またはその代理人に対して、ビジネスを獲得または維持するために、いかなる形の贈り物、接待、または価値のあるものを直接または間接的に提供しないで、ビジネス上の意思決定に影響を与えないこと、および/または不公正な優位を確保してはいけません。
- 賄賂、リベート、および/または便宜供与を提供してはいけません。

2. 利益相反

これには、Infosysの従業員または取締役が、サプライヤーとの個人的な関係、投資、取締役職、またはあらゆる種類の経済的関係を通じて、サプライヤーのビジネスに対してあらゆる種類の利害関心を持つ可能性がある状況が含まれます。エンパネルメント時、または契約前/契約後/契約中に利害の対立が発生した場合、サプライヤーは速やかにそのような状況をInfosysに開示しなければなりません。

3. 品質および製品責任

サプライヤーは、納入する製品/サービスの品質が、すべての契約条件に合致していることを保証するものとします。サプライヤーは、必要に応じて製品のラベリングを含む特定物質の禁止または制限に関するすべての適用法令を遵守する必要があります。

4. 公正なビジネス、広告および競争

サプライヤーは、公正なビジネス、広告、競争の基準を維持する必要があります。サプライヤーは、独占禁止法に違反する共謀入札、価格談合、価格差別、その他の不公正な取引慣行に従事してはなりません。

5. 国際貿易

サプライヤーは、統制される技術、製品および/またはサービスの輸出、再輸出、輸入、または移転に関するすべての法律および規制¹を遵守する必要があります。サプライヤーは、制限なく次の事項を行うものとします。

- 制裁／禁輸措置された国または個人または団体との商取引に関する法律および規制を遵守します。
- 輸出管理法または制裁に違反した履歴を開示します。
- 進行中の調査または問い合わせを開示します：
 - 同様の情報が公に利用可能である場合、または
 - その調査/問い合わせがInfosysとの契約に何らかの影響を及ぼす場合。
- Infosysの製品および/またはサービスが、制裁または禁止された国または個人または団体に使用または供給されないように保証します。

6. 機密性

サプライヤーは、雇用または提携を通じて得たInfosys、当社のお客様、従業員、またはその他の当事者に関する機密または独占的な情報が、個人的または専門的な利益のために使用されないことを保証するものとします。機密情報は、Infosysが共有するすべての従業員データ、個人データ、または第三者情報にも及びます。

¹ 規制に関するいくつかの参照は、以下のリンクでご覧いただけます。

<https://home.treasury.gov/policy-issues/financial-sanctions/sanctions-programs-and-country-information>
<https://www.un.org/securitycouncil/sanctions/information>

7. 知的財産権

サプライヤーは、Infosysの著作権、特許、企業秘密および商標を含むが、これに限定されなく、Infosysの知的財産権を遵守するためのあらゆる措置を講じなければなりません。

8. データプライバシー

Infosysは、子会社とともに、適用されるすべてのデータ保護法および契約上の要件を遵守していることを保証します。Infosysは、個人情報²とも呼ばれるすべてのサプライヤーのデータおよび個人情報に関して、最高水準のデータ保護およびプライバシー基準を維持することを約束します。私たちは、サプライヤー³が敏感な個人情報を含む個人データを処理する際に、同様の基準を遵守することを期待しています。

サプライヤーが独立した管理者である場合、サプライヤーはそのような個人データを処理する際に、現地の法律を遵守する必要があります。サプライヤーがInfosysを代理している場合、サプライヤーは、適用されるデータ保護法および規則に基づくすべての義務を遵守し、<https://www.infosys.com/privacy-statement/data-processing-clauses.html>で入手できる個人データ処理に関連するデータ処理条項および標準契約条項を遵守し、Infosysが所有、管理および制御する個人データを処理する際に、技術的および組織的なセキュリティ対策、データ主体の権利、データの転送および保持（削除を含む）に対処するための適切な措置が実施されることを保証する必要があります。サプライヤーは、データ侵害の事例が発見された場合、48時間以内にInfosysのvendorincident@infosys.comまでに通知する必要があります。Infosysは、報告されたデータ流出事故に関する調査を実施するために、Infosysと全面的に協力し、データ処理施設への合理的なアクセスを提供することが期待されます。

9. 紛争鉱物

サプライヤーは、紛争鉱物に関するすべての規則および規制を遵守し、当該鉱物を調達する際に、適切なデューデリジェンスを実施する必要があります。サプライヤーは、責任を持って供給されていない製品または部品がInfosysのサプライチェーンに流入しないように合理的に設計された方針および手順を採用しなければなりません。

10. 情報セキュリティ

Infosysは、重要かつ機密性の高い情報およびサプライヤーが取り扱う情報システムを保護することを最終目的として、サプライヤー関係のさまざまな段階を通じて、情報セキュリティリスクを識別するのに役立つ全体的なサプライヤー情報セキュリティリスク保証プロセスを有しています。Infosysは、サプライヤーが適用される法律および規制、ならびに契約に含まれるInfosysのセキュリティ要求事項を随時遵守することを期待しています。

サプライヤー組織は、サービス成果物に同意し、契約上のセキュリティ要求事項の遵守を確保し、年間セキュリティ評価に対する支援を提供し、事故を適時に通知し、主要な変更や脆弱性をInfosysに通知する責任があります。サプライヤーは、該当する場合、以下の事項を遵守することが期待されます。

- a. i) Infosysに提供されるサービスおよび ii) サービスプロバイダーが処理または保存するInfosysまたはInfosysの顧客データの機密性、完全性および可用性を十分に保護するために、適切なセキュリティ管理および慣行が効果的に実施され、維持されていることを保証します。
- b. InfosysまたはInfosysの顧客データに関するセキュリティインシデントまたは侵害を認識した場合は、48時間以内にInfosysのvendorincident@infosys.comまでに通知してください。

² 個人を特定できる情報」および／または「個人データ」とは、直接的または間接的に個人を特定できる自然人（「データ対象者」）の単独または他の関連データと共に使用されるあらゆる情報を意味します。

³ ハウスキーピングサービス、土木工事、ハードウェアサービス、建築サービスなどのサービスや製品を提供する一部のサプライヤーは、個人データの処理が関与しない限り、データプライバシー条項から免除されます。

11. ビジネスの継続性

サプライヤーは、物理的災害（火災、洪水、風、地震、爆発など）またはあらゆる種類の業務停止（労働ストライキ、経済・社会構造の崩壊など）が発生した場合に備え、事業を再開するための計画および手順を整備するものとする。事業継続計画の条件について両者が合意することを条件として、サプライヤーは、災害または業務停止が発生した場合、約束された期限内にサービスを再開するものとする。

12. インサイダー取引

Infosysは、SEBI（インサイダー取引禁止）規制、2015年（PIT規制）および適用される米国証券法を遵守する。契約期間中で、サプライヤーがInfosysまたはその他の公開企業に関連する未公表の価格重要情報（以下「UPSI」）を認識した場合、サプライヤーは以下のことを遵守するものとします。

- (a) 家族や友人を含むInfosysの内部および/または外部の誰にも UPSI を開示しないこと
- (b) UPSIが一般の公に利用可能になるまで、Infosysまたはこれらの公開企業の有価証券（株式・デリバティブ）を自己またはポートフォリオ投資サービス提供者、または直系親族を通じて取引しないこと。

SEBI 登録/公認の金融市場仲介業者である Infosys のすべてのサプライヤー、または Infosys との契約期間中に UPSI を取り扱う必要のある人物は、SEBI PIT 規制で要求される行動規範を策定するものとする。

13. Infosysのブランド名とロゴ、メディア権利

当社のロゴは、当社の製品、プラットフォーム、およびサービスの最も顕著なシンボルです。サプライヤーは、次の事項を保証する必要があります。

- Infosysのロゴのすべての使用は、色、外観、サイズに関してInfosysのブランドガイドラインを厳格に遵守しなければなりません。
- ケーススタディ、パンフレット、広告を含むがこれに限定されないInfosysブランドのすべての表現は、確立されたブランドガイドラインに従わなければなりません。
- サプライヤーは、Infosysのブランド名、ロゴ、またはその他の視覚的な要素を明示的な同意なしに使用してはなりません。

サプライヤーは、事前の承認なしにInfosysとのメディアへの関与についていかなるコメントもしていません。メディアレポートの具体的な内容および/またはコメントおよび使用方法の詳細は、Infosysと共有して承認を得なければなりません。

14. サプライヤーにより第三者のエンゲージメント

サプライヤーが第三者を通じてInfosysにサービスや商品を提供する場合、サプライヤーは当該第三者がサプライヤーコードを遵守し、サプライヤーコードの規定に違反する行為を行わないことを保証する必要があります。サプライヤーは、当該第三者によるコンプライアンスを監視し、適用される法律および規制に準拠しているかどうかを判断する責任があります。

15. 法律の遵守

サプライヤーは、労働、移民、安全衛生および環境に関連するものを含むが、これに限定されない、適用される各国および/または地域の法律および規制、条約および業界標準を完全に遵守する必要があります。 サプライヤーは、準拠法の下で義務付けられているコンプライアンスに関するすべての記録を維持し、要求に応じてInfosysに提供しなければなりません。

B. 労働慣行と人権

Infosysは、労働者の人権を尊重し、尊厳と敬意をもって扱うことを約束します。

1. 賃金と福利厚生

サプライヤーは、最低賃金、支払期間、超過勤務時間、同等の報酬およびその他の報酬の要素を含むが、これに限定されない、適用されるすべての賃金法および規制を遵守する必要があります。休暇、社会保障、保険など、法的に義務付けられているすべての給付は、サプライヤーが従業員に提供必要があります。賃金からの控除がある場合には、適用法を厳格に遵守しなければなりません。サプライヤーは、賃金からの控除を懲戒措置として使用してはなりません。

2. 作業時間

サプライヤーは、労働時間および最低賃金、残業時間および最大労働時間に関する適用される法律および規制を遵守する必要があります。サプライヤーは、時間外労働を人間的かつ生産的な労働条件を確保する水準に制限する方法で事業を遂行しなければなりません。

3. 児童労働

サプライヤーは、児童労働を雇用、従事または使用してはなりません。Infosysは、サプライヤーが児童の権利に関する条約、ILO最低年齢条約、及び児童労働の最悪の形態の禁止および即時撤廃に関する条約に規定されている権利と矛盾する慣行に従事しないことを期待しています。「児童」とは、国の法律が許可する場合において通常18歳未満で雇用される者、または義務教育を修了する年齢未満の者、またはその国における雇用の最低年齢未満の者のうち、最も高い年齢を指します。

4. 強制労働/人身売買

サプライヤーは、供給網における強制労働、債務労働、奴隷制または人身売買に関与してはいけません。サプライヤーとのすべての雇用は自発的であり、従業員は適用法に従って自由に雇用を離れることができます。サプライヤーは、適用される法律に従って要求される場合を除き、労働者に雇用条件として政府発行の身分証明書、パスポートまたは労働許可証を没収または提出させてはいけません。労働者は、雇用のためにサプライヤーに対して採用料やその他の関連費用を支払う必要はありません。

5. 人権

Infosysは、サプライヤーが国際的に宣言された人権の保護を支持し、尊重し、人権侵害に加担しないことを期待しています。サプライヤーは、セクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、労働者に対する精神的または身体的強制、または口頭による虐待を含むがこれに限定されない、いかなる厳しい非人道的な扱いも容認してはいけません。サプライヤーは、この点に関して懲戒方針および手続きについて明確に定め、労働者に通知しなければなりません。サプライヤーは、あらゆる形態の差別、ハラスメント、およびいじめ⁴を禁止する書面による方針を策定し、従業員が提起した懸念に対処するための苦情処理メカニズムを整備するものとします。

6. 差別禁止

サプライヤーは、妊娠、出産または関連する医学的状态、レース、宗教的信条、肌の色、性別、性別のアイデンティティ、国籍または祖先、身体的または精神的障害、健康状態、婚姻状況、年齢、性的指向、組合員であること、または法律で保護されているその他の基準に基づいて、雇用または雇用慣行において差別してはいけません。サプライヤーは、常に従業員の尊厳を維持し、ポジティブな労働文化の確立と強化に努めなければなりません。

⁴他人に意図的に危害を加える行為であり、言語的嫌がらせ、言語的または非言語的脅迫、身体的暴行、ストーキング、または操作、脅迫、恐喝などの強制手段を含む場合があります。

7. 結社の自由と団体交渉の権利

Infosysは、サプライヤーが従業員の自由な団体交渉、組織化、及び交渉の権利を尊重し、認めることを期待しています。

8. ハラスメント

Infosysはサプライヤーがすべての人にハラスメントのない職場を提供することを期待しています。保護された基準に基づくハラスメントは違法であり、サプライヤーは適用法令に従わない行為を行ってはなりません。Infosysは、セクシャルハラスメントを含むあらゆる形態のハラスメントに対してゼロトレランス方針を採用しており、サプライヤーは方針の公表、定期的な研修、および必要かつ適時の支援を通じて、ハラスメントのない職場を実現するために適切な取り組みを行う必要とします。

また、サプライヤーは、従業員に対して当該管轄区域におけるハラスメントに関する法律についての意識を高めるため、定期的に啓発プログラムを実施しなければなりません。ハラスメントに関する苦情を提起する場合は、Infosysの「懸念事項の報告」セクションに記載されているチャンネルを参照してください。

C. 健康と安全

Infosysは、サプライヤーが適用されるすべての法令を遵守し、従業員に安全で健康な職場を提供することを期待しています。

サプライヤーは、従業員に対し、適用されるすべての安全衛生に関する法律、規制及び慣行を遵守した安全かつ健康な職場を提供しなければなりません。サプライヤーは、職業安全、緊急事態への備え、労働災害および病気、産業衛生、身体的に厳しい作業、機械保護、衛生、食品および住居を含むが、これに限定されないすべての法的要件が満たされていることを保証しなければなりません。サプライヤーは、作業環境に内在する危険の原因を最小限に抑えるための適切な措置を講じなければなりません。サプライヤーは、薬物乱用問題に対処するための適切な措置を講じ、サプライチェーンにおける違法薬物の使用、所持、流通または販売を禁止しなければなりません。

D. 環境とコミュニティ

サプライヤーは、環境に配慮したビジネス慣行を開発、実施、維持する必要があります。私たちは、サプライヤーが環境保護に関するInfosysの基準を遵守し、次の目標に向けて努力していることを透明に報告することを期待しています：

- エネルギーおよび排出: エネルギー消費を監視し、再生可能エネルギー源に移行し、温室効果ガス（GHG）排出量を削減する
- 水: 淡水の消費を減らし、廃水を再利用およびリサイクルする
- 廃棄物: 発生源で廃棄物を分別し、廃棄物処理に科学的な手法を採用し、事業から使い捨てプラスチックを排除する。大気、土地、水（および騒音公害）の汚染を監視し、汚染を排除するために必要な努力を行う。
- 生物多様性: 生物多様性を保護し、動植物を守ります。

供給業者は、その事業が地域社会の利害関係者と調和していることを保証し、地域社会の土地、森林及び水資源の権利を侵害してはいけません。

E. 管理システム

Infosysは、ISO 9001、14001、45001、27001、27701、22301、20000およびAS9100、13485、15489などの

分野別認証を取得しています。Infosysは、ESGビジョン2030に取り組んでおり、GRIスタンダード、SASB（IT部門）、TCFD、CDP、PAS 2060の要求事項を採用しています。Infosysは、サプライヤー組織（サービスまたは提供された製品の原産地）が、ISO認証を含む該当する産業別の認証を取得し、上記の標準要求事項に沿った持続可能性/ESGの開示を行うことを推奨しています。また、ISO認証、ESGおよび関連格付の開示、各分野における強固な取り組みを示すための定期的な更新は、Infosysとの長期的なビジネス関係において重要な考慮事項の一つです。

供給業者は、供給業者コードの遵守を証明するために必要な管理システムを構築し、文書を維持しなければなりません。このシステムは、(a) 適用される法律および規制の遵守を監視し確認すること、(b) サプライヤーコードに準拠すること、(c) サプライヤーコードに関連するオペレーショナルリスクを特定し軽減することを目的としています。

1. サプライヤーの義務

サプライヤーは、Infosysへのサービス提供に関与する従業員、子会社、ビジネスパートナーおよび下請け業者にサプライヤー行動を伝達し、これを遵守することを確実にするものとします。サプライヤー行動の遵守は、サプライヤーとInfosysとの契約におけるその他の義務に加えて求められます。

サプライヤーは、サプライヤー行動の遵守を自己監視し、その遵守を示さなければなりません。サプライヤーは、要請に応じて日常的な管理を積極的に監査し、管理し、報告書をInfosysと共有しなければなりません。

Infosysは、事前にサプライヤーに通知して監査を行う権利を有します。制限なく、そのような監査には環境、社会、ガバナンス（ESG）パラメータ、持続可能性、社会的コンプライアンス、現代奴隷制度、情報セキュリティ、ビジネスの継続性、該当する法令および規制の遵守、その他の契約上の約束（サービスレベルアグリーメント、納品の品質など）が含まれる可能性があります。

これらの監査および評価は、Infosysまたは指名された第三者によって、サプライヤーの施設で物理的に、または仮想的に、あるいはハイブリッドモード（部分的に物理的および部分的に仮想）で実施されることがあります。サプライヤーは、監査の範囲に従って、組織内でそのような監査を支援しなければなりません。監査の期限を遵守し、監査中に求められた関連成果物を作成し、是正措置を提出するとともに、すべての監査結果に対する適切な証拠を期限内に提出することが義務付けられています。Infosysはコンプライアンスの改善に向けてサプライヤーと協力しますが、監査要件に協力または遵守しない場合、サプライヤーとのサービスの終了を含むがこれに限定されない適切な措置が取られる可能性があります。

F. 懸念事項の報告

このサプライヤーコードの違反が疑われる場合は、リンクに記載されている<http://oic.infosys.com/> および以下のInfosysのヘルプライン番号を通じて報告してください。

データ侵害やセクハラを除いたすべての事項は、whistleblower@infosys.comに通報することができます。

セクシャルハラスメントに関する苦情は、GRB@infosys.com宛に書面にて申し出ることができます。

InfosysまたはInfosysの顧客データに関連するすべてのデータ侵害および/またはサイバーセキュリティ事故は、発見後48時間以内にvendorincident@infosys.comに書面で報告する必要があります。

報復を含め、違反の疑いがある場合は、すべて報告することが重要です。報復には、違反の疑いを報告したことに関連する、不利な行為、ハラスメント、または業務上の差別が含まれます。Infosysは、可能な限り守秘義務を守り、善意で助言を求めたり、疑わしい行動やサプライヤー規範違反の可能性を報告した個人に対する報復や容認を容認しません。Infosysは、提起されたすべての問題を公正に評価し、解決策を提供することを約束します。